

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～24 台を示し、平年並み～やや高めでした。

## 〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げで、前週の54%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げで、前週の75%（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり4.4kgの水揚げで、前週の4.9倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.4トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり4.7kgの水揚げで、前週の71%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり6.87kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。

定置網----対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり8.7kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキなどが1日1統当たり4.15kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり6.09kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり1.0kgの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/15～6/19の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、輪島沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、4日延8隻、総計523箱、1航海最高117箱、平均65.4箱。スルメイカ（20～30入）408箱、ケンサキイカ（3立）115箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

「第6-9号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道（対馬南・対馬南東・対馬東）の観測結果を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>